

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	15	学校名	東部特別支援学校 伊豆高原分校	校長名	佐々木 雅則
------	----	-----	--------------------	-----	--------

1 目指す学校像

教育目標 「学びあい、わかりあい、高めあう人」

【体】健康で生き生きと活動する力

【知】社会生活に必要な力を身に付け、自分らしく生きる力

【徳】他の人を思いやったり、物事に感動したりする豊かな心

教育目標の具現化に向けて、①安心と信頼、②豊かな学び、③地域とのつながり
④やりがいを学校づくりの4つの視点に掲げ、社会で生き生きと働き、互いを認め
合い、豊かな感性をもって、生活の質を高められる学校づくりを目指す。

2 目標具現化の柱

(1) 〈守る〉 安全で安心な教育環境づくり

ア 学校の安全体制の強化

イ 人権を尊重した教育

(2) 〈育む〉 確かな学力や豊かに生きる力の育成

ア 学びの充実

イ キャリア教育の充実

ウ 特別支援教育の専門性の向上

(3) 〈つなぐ〉 学びと生活を支えるための連携づくり

ア 校内における連携体制の構築と情報共有

イ センター的取組の充実

ウ 「共生・共育」の充実

(4) 〈高める〉 わかりあい高めあう働きやすい環境づくり

ア 働きがいのある学校づくり

（生徒にかかる時間の確保、授業準備時間の確保、会議の精選）

イ 信頼される学校づくり

3 本年度の取組（重点目標）

(1) <守る> 安全で安心な教育環境づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学校の安全体制の強化			
ア	安全・安心で健康に過ごすための知識・技能の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解、支援方法の職員研修 緊急時に適切に対応するための職員研修の実施 想定される災害等への対応方法について研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を生徒の指導、支援に役立てたと感じる教職員90%以上 マニュアルで災害時の自分の動きが把握できた。 災害時、どのように行動すればよいか理解できた生徒80%以上 	自立活動課 保健安全課

イ	人権を尊重した教育		
	互いを認め合い 人権を尊重した 教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に自分を振り 返る機会の設定 外部講師を含む校内 人権研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 友達を思いやる行 動ができた生徒 90%以上 生徒の人権を意識 して指導、支援が できた教員100%

(2) <育む>確かな学力や豊かに生きる力の育成

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学びの充実			
	生徒が主体的に 学べる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を喚 起させる支援の工夫 ICT活用実践例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 授業が分かると答 えた生徒90%以上 ICTを効果的に活 用できたと感じ る教員80%以上 	研修課 情報課
イ	キャリア教育の充実			
	自分らしく生き るための自立と 社会参加を目指 した進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の希望、実態を 踏まえた適切な実習 先、進路先の選定 実習、進路先の希望 が出されたのち学年 ごとケース会議を開 く。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携しなが ら実習を実施し、 進路決定に向け た関係機関との 連携ができたと 考える教員80%以 上 	進路指導課
ウ	特別支援教育の専門性の向上			
	自分の課題、目標 に沿った研修の 実施	<ul style="list-style-type: none"> センター研修、Plant、 外部講師による研修 の実施 ニーズに沿ったミニ 研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を教育活動に 生かせた教員90% 以上 自分の課題のテー マを研修できた 教員90%以上 	研修課 自立活動課 管理職

(3) <つなぐ>学びと生活を支えるための連携づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	校内における連携体制の構築と情報共有			
	途切れのない支 援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 入学を希望する生徒の 支援内容の共有 課題に応じ、情報の共 有、校内ケース会議、 外部機関を入れての ケース会議の実施 卒業後の生活を踏まえ た関係機関との情報 共有 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の対応方法に ついて学年部会、 ケース会議等を 踏まえ、学部、学 年で情報共有す ることができたと 感じる教員 80% 	進路指導課(Co) 学年主任 進路指導課
イ	センター的取組の充実			
	情報共有と情報 発信	<ul style="list-style-type: none"> 要望に応じた対応、ノ ウハウの提供 必要に応じ、関係機関 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容、要請事 項を校内で共有、 発信できた。 	進路指導課(Co)

		を紹介		
ウ	「共生・共育」の充実 併設校、地域との共生共育の推進	・これまでの実践を踏まえた持続可能な共生共育の企画、実施	・今後の共生共育に期待がもてると答えた教員90%以上	生徒指導課

(4) <高める>わかりやすい働きやすい環境づくり

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
働きがいのある学校づくり				
充実した業務ができる職場環境の構築				
ア		<ul style="list-style-type: none"> 必要な時に必要なケーブル会議、教材研究の時間の確保 cocooやホームページの活用推進 ホームページの更新方法の紹介とサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に向き合う時間が十分確保できた職員90%以上 ICTを公務（ホームページやcocoo）に活用できた教職員70%以上 ホームページの更新を行った教職員100% 	教務課 情報課
信頼される学校づくり				
イ	不祥事根絶	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議、終礼等を使った定期的な研修 	<ul style="list-style-type: none"> 不祥事を身近なことと意識して不祥事ゼロを目指した教職員100% 	管理職